

報告 PTA一日研修 2025年6月14日(土)

大原三千院→湯葉料理ランチ →京の手づくり体験

参加者76名

行程

学校発～岡崎神社～昼食・散策「嵐山周辺」～
「八つ橋庵としゅう館」(生八つ橋づくり体験)～学校

新たなつながりや視点を得た研修旅行

中根 玄造 さん(3年保護者)

初めて学校PTA主催の研修旅行に参加しました。これまで学年PTAでは活動していましたが、愛知父母懇や学校PTAのイベントに参加する機会はありませんでした。しかし、愛知父母懇の総会で、大谷会長から「学校PTAとの交流を広げよう」とお話をいただき、参加を決意しました。当日は、大原三千院を訪れたり、京うちわの創作を体験したりと、充実した時間を過ごしました。道中では参加者同士が交流を深め、バスでの楽しい会話や観光地での買い物、食事の良い思い出となりました。この研修を通じて、新たなつながりや視点を得ることができました。企画してくださった学校PTA役員の皆様に感謝するとともに、皆さんもぜひ新しい交流に挑戦してみてください。

新しい体験ができた一日研修

金田 雅子 さん(3年保護者)

PTA3年目にして初めて研修旅行に参加させていただきました。行きのバスではビンゴゲームで盛り上がり、楽しい雰囲気のまま京都に到着。大原三千院では雨に濡れながらも苔庭やあじさいを楽しむことができました。昼食は旬味草菜お宿で、三段重ねのお重に美しく盛り付けられた繊細な料理を堪能し、お腹も心も満たされました。京の手創り体験では、細かく力のいる作業に苦戦しながらも、伝統工芸に触れる貴重な機会となりました。今回の研修を通して、皆さんと親交を深めながら楽しい時間を過ごすことができ、またぜひ参加したいと感じました。素晴らしい機会をいただき、本当にありがとうございました。

はじめに参加した一日研修

柘植 恭子 さん(1年保護者)

一日研修の存在は総会で初めて知りました。どのような研修?旅行?かなだろうと思いつつも、まずは参加してみようという軽い気持ちで参加しました。ビンゴカードやお菓子の詰め合わせ、役員さんをはじめ引率の先生にバスガイドさんもいて、大人の修学旅行みたいな雰囲気にすごく気持ちが和み童心に戻ったようなワクワクした気持ちになりました。バスの中では、同じように初めて参加の方々も多くいて一緒にビンゴや、子供の話、部活の話などで、親交を深めることができました。京都に着くと予想以上の大雨に驚きましたが、そんな天候もみんなで笑いながら、京都料理や、散策、お買い物、絵付け体験まで貴重な時間を過ごすことができました。

毎回楽しみ研修旅行

井口 雅美 さん(2年保護者)

今回で4回目の研修旅行に参加させていただきました。最初は一人での参加に不安もありましたが、皆さんが気さくに話してくれたので、2度目以降も安心して参加できました。今回は下の子の入学を機に学年PTAにも関わることになり、仲間も増えてにぎやかな旅となりました。あいにく行きから雨が降り出しましたが、大原三千院の苔むす庭と豊かな緑に心が癒されました。京うちわの手作り体験では、それぞれの個性で素敵なおうちわが完成し、忘れられない思い出になりました。時間の関係で縁切り神社に寄りなかつたのは残念でしたが、充実した一日で、またぜひ参加したいと思えます。



Information これからのイベント&お知らせ

開催日/
土曜講座 6月21日(土)、7月12日(土)、11月15日(土)、2月7日(土)
(合計4回)

安城学園高校学園祭 開催日/9月26日(金)・27日(土)

11月PTA一日研修 開催日/11月15日(土)



笑顔の連鎖で 子どもたちを全力応援



PTA会長

大谷 理早

令和7年度PTA会長を務めさせていただきます大谷理早と申します。

PTA活動に携わらせていただき毎年感じているのは、生徒だけでなく保護者の皆さんも明るくやる気に満ちた方が多いということ、笑顔で楽しんでいる方が多いということです。

昨今、共働きの家庭が増えPTA活動に消極的な声を聞いたり、PTA活動廃止といったニュースを目にする事が増えました。しかし、安城学園には子ども達のサポートをする事を大前提としながら、学園祭や父母懇、一日研修、部活動応援など、様々な場面で明るく楽しく笑顔で活動する保護者の姿が沢山見られます。大人が全力で楽しく取り組む姿や、やる気に満ち溢れイキイキとした姿を見せるのは、子ども達にとって明るく前向きなメッセージになるのではないのでしょうか。保護者が人生を楽しむ姿を見せる事で、子ども達が未来に希望を持てるのではないかと思います。

また、一人ひとりの無限の可能性を信じ、本気で挑戦する生徒を全力で応援して下さる先生方がいる事も、子ども達にとっても私達保護者にとっても心強く有難いことだと感じております。

私はコロナ禍を経験した事から、当たり前は何もないと思っています。日常生活に溢れる全ての事は誰かの愛のものと成り立っていると感じています。その事を忘れず日々何事にも感謝する事、そして笑顔で過ごす事が大切だと思っています。笑顔の連鎖を広げ、子ども達を全力で応援しましょう!

1年間よろしくお願いたします。

クラブ応援 保護者の取り組み

吹奏楽部

一生の宝物を胸にめざせW全国!



藤川 吏恵さん (3年保護者)

吹奏楽部では春は合同演奏会、夏～秋は座奏とマーチング、冬は定期演奏会にアンサンブルとたくさんのイベントと学校での勉強で多忙な毎日を送っています。

ほぼすべての曲を1年から3年まで全員で取り組むため、楽器の技術、表現力、体力、団結力と毎日たくさんの課題と向き合い、仲間とともに限界に挑戦しています。この経験

は子供たちの一生の宝物になるだろうと思います。毎日熱心にきめ細やかにご指導をしてくださる先生方、お手伝いの先輩方など、たくさんの支えへ感謝の気持ちを胸に、今年も座奏とマーチング両方のコンクールで全国大会の出場を目指しています。わたしたち保護者も子供たちの笑顔のために全力でサポートしていきます。

弦楽部

心をひとつに全国へ

永井 香織さん (3年保護者)



全国大会への出場を目指して日々練習に励んでいます。更に、様々なコンサートやイベントに参加し、夏休み中には東北へ演奏旅行、年末には第九の演奏に参加させていただき、中学の時にコロナ禍で人前で演奏する機会の殆ど無かった子供たちにとって、音楽を通して誰かの心に寄り添える貴重な機会を沢山いただいています。練習など辛苦しいことも多いと思いますが、顧問やコーチの先生方の手厚いサポートや演奏する機会があることに感謝を忘れず、全国大会に向けて全力で頑張れるよう保護者も応援支えていきます。

多くの皆さんが笑顔で大活躍中!

PTA 活動レポート!

保護者の皆さんの出会いと活躍の場として、
多彩な行事を設けています。
生徒たちと、学校と、そして保護者同士の交流を
深めながら、多くの経験を共有しましょう。

陸上競技部

がませ!! 広島インターハイ

新開 京子さん (3年保護者)



昨年の東海総体、後一步のところで逃がした福岡インターハイ。付き添い組で誓った「来年こそは選手としてインターハイに行く」。その誓いどおり、広島インターハイの切符を手に入れた選手たち。本当に、本当に格好良く感動しました。

あの時の負けは自分にとって必要だった話す選手に、私は大きく成長を感じました。そして、3年間、表舞台に出ることはなくても常に選手が一番近くで支えてくれたマネージャーと1年の時からチームをひっぱってくれたキャプテンを必ずインターハイに連れていくという目標も見事に叶えてくれました。決して1人ではなくチームで戦っていることを感じさせてくれた安城学園陸上競技部。インターハイでは全員が競技を精一杯楽しんで笑顔で帰ってきてほしいです。

ダンス部



ダンスは団結力!

國村 美穂さん (3年保護者)

安城学園のダンス部に入りたいと入部。部員達の経験値、スキルの差はあったかと思えます。助け合い、支え合い、協力しながら団結力が生まれたと思えます。オーディションに受かる為に部活での練習、個々での練習...受かってほしいからこそ厳しい言葉もかけてきました。大会チームでは全国大会に行く為に何度も何度も繰り返し最高の作品を作り上げたと思えます。大会を観に行く事は親にとっても楽しみの1つであり全力で楽しんで後悔だけはしないようにがんばれ!と思っていました。一生懸命踊ってる姿を見ると本当に感動します。私達保護者はいつでも全力で応援します。先生方に感謝を忘れずに更に上を目指してがんばってほしいと思っています。

卓球部

今年こそ

水野 恭彦さん (3年保護者)

昨年度のインターハイ予選、ベスト8という悔し涙をのむ結果で終わりました。そのリベンジを果たすべく今まで以上に練習、遠征に行き、たくさんの実践経験を積み、選手・保護者・教員が一丸となり1年間頑張ってきました。その結果、今年度はリベンジ達成!そして数年ぶりとなる東海総体出場権を勝ち取ることができました。部活動での3年間は人生のほんの一部に過ぎませんが目標を持ち最後までやり切ったということが財産であり、これからの自信に繋げてほしいと思います。みんな本当に最後までよく頑張りました!



男子バスケットボール部

挑戦と感謝

手島 友美さん (3年保護者)

昨年から新たに「挑戦」した3人制バスケット3x3で目標の全国大会へ出場を果たし貴重な経験を、親子で嬉しさを共感する事が出来ました。インターハイ予選では、10分の延長戦となる激闘戦の末、競り勝つことが出来ず悔しい思いが残る結果となりました。様々な経験を重ね、嬉しさ悔しさを体験し成長していく子供達の姿を近くで見れる事が、私達保護者の楽しみとなっています。

先生方・コーチ・OB・仲間・プレイ出来る環境...全てにおいて「感謝」の気持ちを忘れず、皆が笑顔で居られる様に、これからも頑張る子供達をサポートしていきたいと思っています。



女子バスケットボール部

試合ごとに逞しくなる部員たち

吉田 良一さん (2年保護者)

今年度、女子バスケットボール部は、3年生がおらず、1、2年生のみで活動しています。また部員全員が親元を離れ寮生活をしており、練習に加え、慣れない家事に奮闘の日々を過ごしています。

昨年は3年生が、生活、プレーの両面を支えてくれていましたが、今年度は2年生が最上級生としてチームを引っ張り、1年生と共に成長しています。試合を重ねるごとに逞しくなる姿は、私たち保護者の楽しみであり、大きな励みでもあります。

現在は、練習の頑張りが結果につながらず我慢の日々が続きませんが、まだまだ伸びしろを感じさせてくれるいいチームです!保護者一同、これからも陰ながら全力で応援、サポートしていきたいと思っています。更なる高みを目指して、頑張れ安城学園女子バスケットボール部!

